

平成 15 年 4 月 4 日

国土交通省近畿地方整備局
猪名川河川事務所長
上下 芳夫 殿

猪名川ラブリバー懇談会 座長
服部 保



「猪名川ラブリバー意見交換会における意見」について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さる平成 15 年 3 月 1 日(土)に猪名川ラブリバー懇談会として、沿川で活動する皆様方との意見交換を行う猪名川ラブリバー意見交換会を開催いたしました。今回のラブリバー意見交換会では、「淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料(第 1 稿)」について猪名川工事事務所にご説明いただき、参加された方々から別紙に示すとおり、様々なご意見をいただいております。今後、淀川水系整備計画の策定に際し、これらの猪名川流域における地域からのご意見にご配慮いただきたくお願い申し上げます。

敬具



第2回猪名川ラブリバー意見交換会 意見書

意見NO.	開催日時	平成15年3月1日(土) 14:30~17:00	所属及び氏名
	開催場所	大阪駅前第3ビル17階 大阪桐杏学園 会議室	
	出席者	懇談会委員16名、沿川関係団体11名、事務局9名	
1	<p>・河川を整備する事業者は、生態系についてもっと学んでもらいたい。例えば、改修工事前後で比較した場合、水際部も人為的な手が加えられており、これは生態系には致命的なのでは。</p> <p>・一般市民に対して分かりやすく情報の提供をしてもらいたい。例えば治水対策の方法について分かりやすい情報での提供をしてもらいたい。</p>	猪名川景観を守る会・渡辺	
2	<p>・河川の法面はどの程度にするか、的確にバッファゾーンの策定を。人間があって初めて河川が生きると思うので、河川に色を出させては(例えば、利水に優先される河川とか排水を優先される河川とか)。</p>	野生生物を調査研究する会・今西	
3	<p>・猪名川のこれからのあり方については住民参加で。その前に、猪名川上流部での保水能力は、住宅団地(ニュータウン)の造成でどのようになっているのか。</p> <p>・河川敷の利用について一川でなければならぬ利用という観点について、なぜそうなのかを議論するべきではないか。それぞれの市町のまちづくりを進めていく中での利用という点を考えなければならないのでは。</p>	伊丹市生涯学習部長・石割	
4	<p>・市民との連帯と具体策ー環境学習について具体的に盛り込んでほしい。環境用水について配慮してほしい。</p>	自然と文化の森協会・佐藤	
5	<p>・一庫ダムについては、異常洪水時における消防用水の確保が課題である。</p>	川西市文化協会 会長・丸橋	
6	<p>・銀橋上流は、県の管理区域で下流側は国土交通省が管理を行っているが連携は取れているのか。 →大阪府、兵庫県にも連携して計画を進めるように意見を伝えて連携をしている。</p>	猪名川景観を守る会・渡辺	
7	<p>・まったく参加していない方には、土木・環境用語が多くて資料を読むにくいのでは。 →川のことばを通して理解していただきたい。</p>	利倉西自治会連 合会長・星野	
8	<p>・被害ポテンシャルの対策についての理解をえるためには流域の市町や住民の連帯が必要である。</p>	川西市土木部部 長・吉田	
9	<p>・流域住民の賛同を得て木の伐採などを行うと言っているが、現地に行って初めて現状を知ることが多いので、事前に情報を公開してもらいたい。</p>	池田・人と自然の 会・松本	
10	<p>・希少種についてー植物の種の保存だけでなく、生育環境も保存しなくてはならないのでは。外来種についてー猪名川にも浸入する可能性のあるコクチパスのことが気になる。関係省庁とともに滋賀県の外来魚対策のように流入を未然に防ぐ方策を十分に考えてもらえないだろうか。</p>	豊中生物同好会 会長・岡	